

## こどもの病気「喘息性気管支炎」

かぜをひくたびに、喘鳴(ぜいめい)をくり返すタイプの子がいます。かぜのウイルスに対し、気管が過敏だから起こると考えられています。一部は、気管支喘息に移行するため、何度もくり返すようなら、アレルギーの検査が必要です。3～4才になると、自然に出なくなる人が多いようです。

- 原因：かぜで、気管に炎症がおこり、痰がうまく切れない状態といってよいでしょう。
- 症状：咳が出るときにゼイゼイという感じがします。繰り返しおこします。
- 治療：去痰剤や気管支拡張剤を処方されることがあります。咳を止めてしまうくすりはありません。

(治療については、お医者さんの判断によりちがいます。ここには一般的なものを記載しています。)

- 病院に行くタイミング：咳がひどく呼吸が苦しそうになってきたら受診してください。
- いつから学校(保育所)にいったいいい？：元気になったら、行っても大丈夫です。
- おうちでできること：
  - 休む・・・家でゆっくりしていきましょう。
  - お風呂・・・熱がなければ、入ってもかまいません。
  - 食べ物・・・特に制限はありません。

## 今回のおはなし「待合室で」

とびひや、あせもなどで受診した場合、お子さんはとても元気です。待合室には、目新しい本や、おもちゃなどがあり、つい興奮してしまう場合があります。でも、となりに熱をだしたり、嘔吐したりして、とてもしんどいそうにしているお子さんもおられます。お母さん、どうですか？ 自分の子供に注意をしていますか？

お母さん自身は、寝不足の上、イライラしてしまうし、待ち時間は退屈なものです。携帯電話を見ながら、「しずかにしいや～」「あばれたらおこられるよ～」などといっても、お子さんはぜんぜん言うことを聞いてくれません。よけいに、調子に乗ってしまいます。

では、反対に、自分の子供が40度の熱を出しているのに、となりにさわがれたらどうでしょうか？ 注意できる場合もあるけど、なかなか気まずいものですよね。

病院や、薬局での待合室では、ほかの人に迷惑をかけないように、元気でも、静かにしていきましょう。子供は勝手に自覚してくれません。注意して、マナーを身に付けさせるのは、お母さんの仕事なのです。ちゃんと顔を見て、説明してあげましょう。

ご存知ですか？ 医療機関で携帯電話を使うのは、メールでもマナー違反となります。ましてや通話はやめてくださいね。心臓ペースメーカーをいれておられる方が、近くにおられると危険です。

あたりまえのことですが、まわりも、自分たちも、少しでも気持ちよくすごしたいものです。